

# 2009年度(平成21年度)の温室効果ガス排出量について

## 1 温室効果ガスの総排出量

- ・ 2009年度の温室効果ガス排出量は、75,008千トン(二酸化炭素換算)。
- ・ 京都議定書の基準年度(原則1990年度)と比べ、2.6%の減少。
- ・ 前年度と比べると4.3%の減少。

表1 県内の温室効果ガス総排出量の推移

温室効果ガスの種類	年度																			基準年度比(%)	前年度比(%)	
	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008			2009
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	73,223	75,374	76,361	74,619	77,694	77,963	78,007	78,789	77,419	76,990	76,228	78,586	82,005	81,630	81,943	82,366	82,413	83,137	75,851	72,528	-0.9	-4.4
メタン(CH <sub>4</sub> )	367	362	368	351	350	345	339	339	329	322	323	322	324	314	316	301	309	309	302	285	-22.4	-5.9
一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	758	855	948	1,014	1,063	1,077	1,077	1,107	1,096	1,098	1,094	1,196	1,307	1,264	1,278	1,299	1,298	1,292	1,162	1,146	51.1	-1.4
ハイドロフルオロカーボン類(HFCs)	865	865	865	865	865	865	897	892	884	904	873	734	634	647	489	619	673	775	872	973	12.4	11.5
パーフルオロカーボン類(PFCs)	165	165	165	165	165	165	171	187	156	122	111	93	86	84	87	81	85	88	50	38	-77.1	-24.5
六ふっ化硫黄(SF <sub>6</sub> )	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	1,689	1,449	1,314	900	699	582	551	521	512	441	496	505	152	38	-97.7	-74.7
温室効果ガス総排出量	77,012	79,255	80,341	78,648	81,771	82,049	82,180	82,763	81,198	80,336	79,328	81,512	84,906	84,459	84,624	85,108	85,274	86,106	78,389	75,008	-2.6	-4.3

※HFCs、PFCs、SF6の1990～1994年度の排出量については、1995年度の排出量を記載。

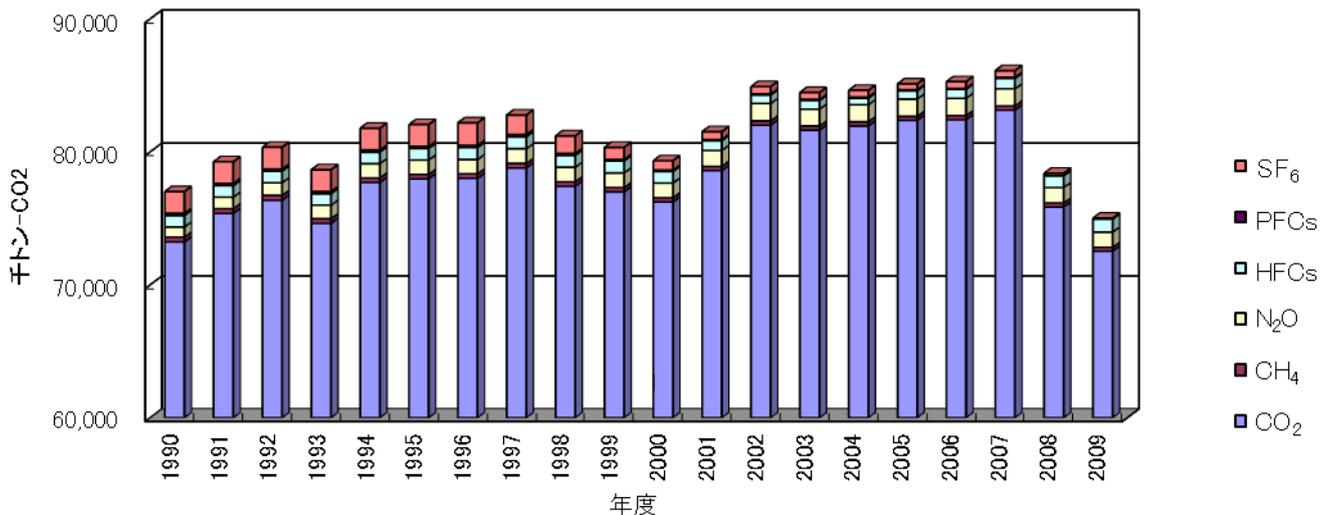


図1 温室効果ガス総排出量の推移

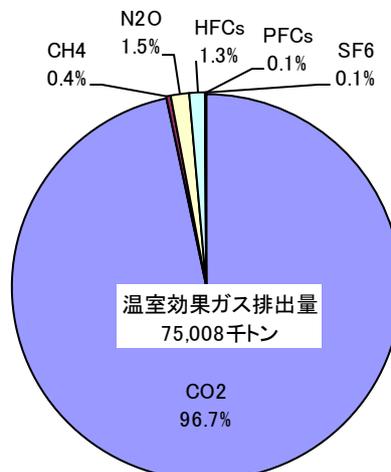


図2 温室効果ガス総排出量の内訳

## 2 各温室効果ガスの排出状況

### (1) 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)

2009年度 72,528千トン (9.8トン/人)  
 基準年度比 0.9%減少(10.6%減少)  
 前年度比 4.4%減少(4.6%減少) } ( )内は一人当たりの排出量  
 前年度からの減少は、主に、産業部門の排出量の減少による。

表2 部門別二酸化炭素排出量の経年変化

年度		1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	基準年度比 (%)	前年度比 (%)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	産業	42,898	43,826	43,515	42,068	42,382	42,450	42,354	43,195	41,553	40,377	40,445	41,334	41,974	43,266	43,998	43,926	43,111	43,837	39,090	37,033	-13.7	-5.3
	民生家庭	7,315	7,549	7,834	7,732	8,563	8,655	8,476	8,401	8,503	8,791	8,761	9,282	10,159	9,533	9,196	9,522	9,872	9,927	9,375	9,201	25.8	-1.9
	民生業務	8,387	8,650	9,021	8,556	9,916	9,787	9,887	9,799	9,899	10,418	9,814	10,520	12,066	11,127	11,138	11,550	12,206	12,200	10,566	10,171	21.3	-3.7
	運輸	11,041	11,579	12,040	12,353	12,683	12,931	13,211	13,280	13,541	13,610	13,544	13,668	13,694	13,495	13,198	12,638	12,260	12,080	11,825	11,448	3.7	-3.2
	エネルギー転換	1,481	1,558	1,749	1,709	1,946	1,880	1,786	1,745	1,621	1,567	1,409	1,577	1,956	1,818	1,920	2,123	2,203	2,293	2,184	2,152	45.3	-1.4
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	2,099	2,211	2,201	2,201	2,206	2,261	2,292	2,370	2,302	2,227	2,255	2,204	2,155	2,390	2,482	2,607	2,761	2,800	2,810	2,524	20.2	-10.2	
二酸化炭素総排出量	73,223	75,374	76,361	74,619	77,694	77,963	78,007	78,789	77,419	76,990	76,228	78,586	82,005	81,630	81,943	82,366	82,413	83,137	75,851	72,528	-0.9	-4.4	

### 〔各部門の排出量について〕

#### ○産業部門(工場等)

基準年度比で13.7%の減少、前年度比で5.3%の減少。

前年度からの減少は、景気悪化による生産量の減少に伴う、製造業からの排出量が減少したこと等による。

#### ○家庭部門

基準年度比で25.8%の増加、前年度比で1.9%の減少。

前年度からの減少は、電気使用量の削減、電力量当たりのCO<sub>2</sub>排出係数の低下等による。

#### ○業務部門(オフィスビル・店舗等)

基準年度比で21.3%の増加、前年度比で3.7%の減少。

前年度からの減少は、床面積の減少、電気使用量の削減、電力量当たりのCO<sub>2</sub>排出係数の低下等による。

#### ○運輸部門(自動車・船舶等)

基準年度比で3.7%の増加、前年度比で3.2%の減少。

前年度からの減少は、走行量の減少、保有台数の減少等による。

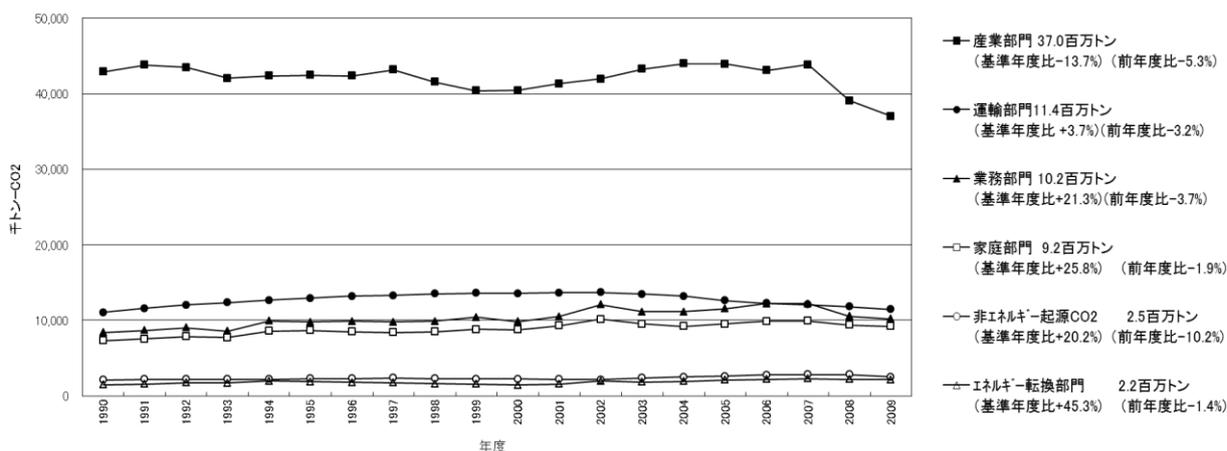


図3 部門別二酸化炭素排出量の経年変化

## (2) メタン(CH<sub>4</sub>)

2009年度のメタン排出量は285千トン(二酸化炭素換算)であり、基準年度と比べると22.4%減少し、前年度と比べると5.9%減少した。前年度からの減少は、主に、農業活動等による排出量の減少による。

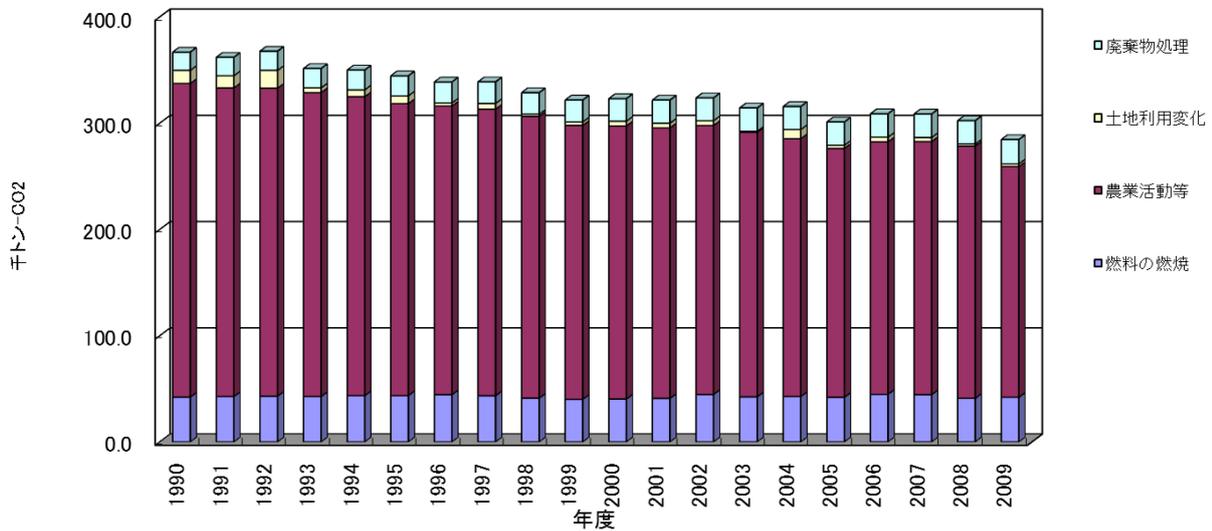


図4 メタン排出量の推移

## (3) 一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)

2009年度の一酸化二窒素排出量は1,146千トン(二酸化炭素換算)であり、基準年度と比べると51.1%増加し、前年度と比べると1.4%減少した。前年度からの減少は、主に、燃料の燃焼、農業活動による排出量の減少による。

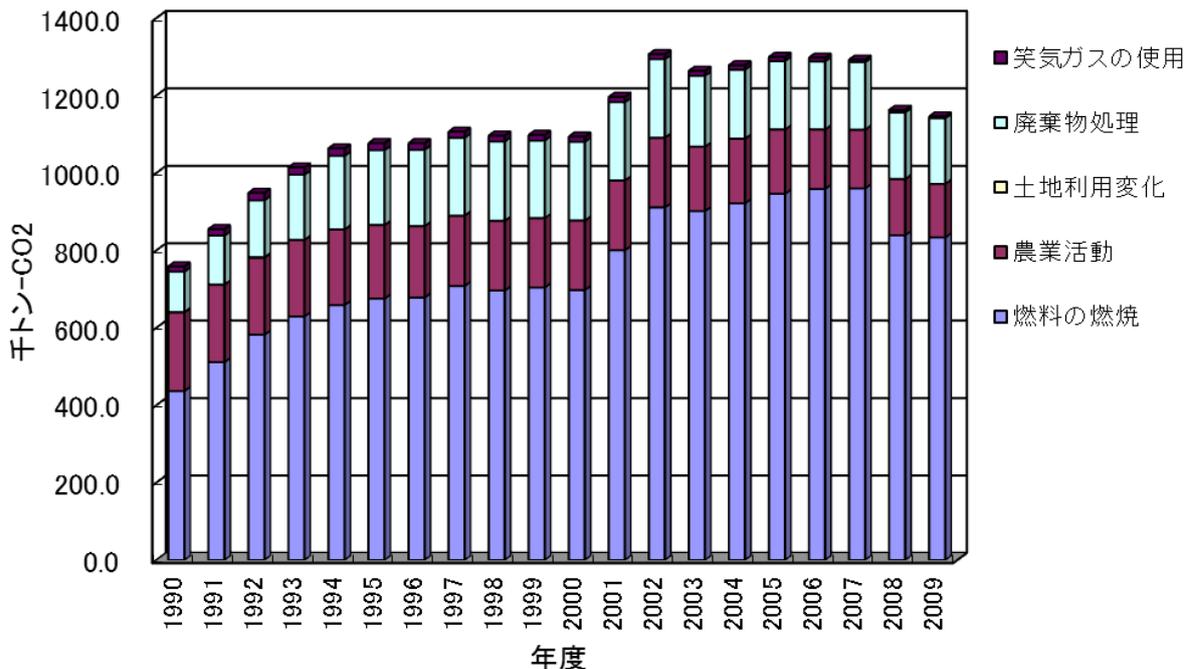


図5 一酸化二窒素排出量の推移

#### **(4) ハイドロフルオロカーボン (HFCs)、パーフルオロカーボン (PFCs)、六フッ化硫黄 (SF<sub>6</sub>)**

2009年度のHFCs排出量は973千トン(二酸化炭素換算)であり、基準年度と比べると12.4%増加し、前年度と比べると11.5%増加した。

PFCs排出量は38千トン(二酸化炭素換算)であり、基準年度と比べると77.1%減少し、前年度と比べると24.5%減少した。

SF<sub>6</sub>排出量は38千トン(二酸化炭素換算)であり、基準年度と比べると97.7%減少し、前年度と比べると74.7%減少した。

代替フロン等3ガス全体では、基準年度と比べると60.6%減少し、前年度と比べると2.3%減少した。